



2025年12月期 第3Q 決算説明会資料

2025年11月14日(金)



We Craft Your Imagination.

01 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

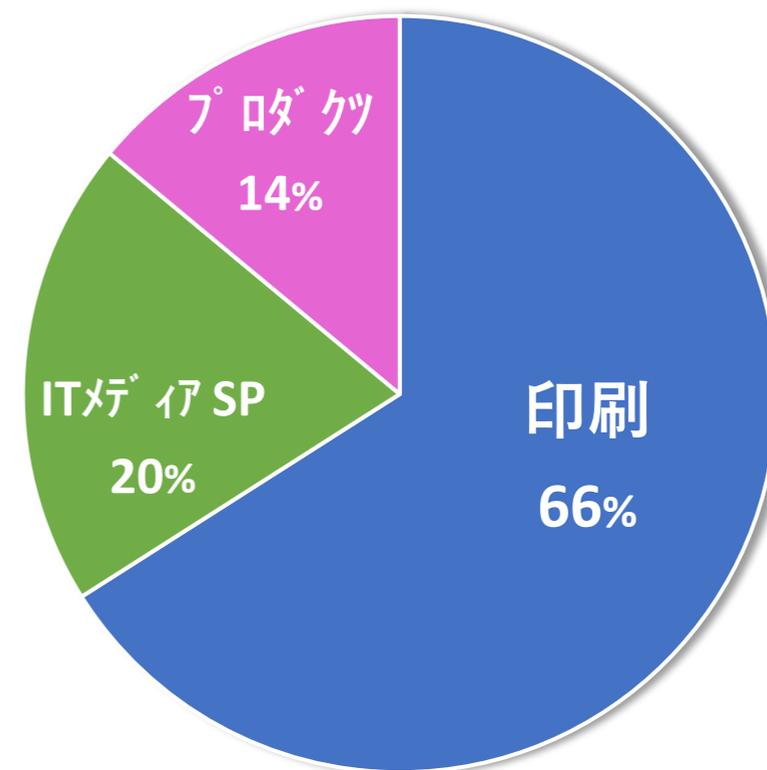
売上増加の内容

2025年12月第3Q ----- 連結子会社 **38社***
売上高 **62,269**百万円

2024年12月第3Q ----- 連結子会社 **38社**
売上高 **57,193**百万円

+5,075百万円 **8.9%増**

売上構成比



* 2025年9月末38社のうち、連結子会社間吸収合併により8社減、新規連結により6社増、持分法より変更2社増

01 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

売上増加の内容

2025年12月第3Q ----- 連結子会社 **38社***
 売上高 **62,269**百万円

2024年12月第3Q ----- 連結子会社 **38社**
 売上高 **57,193**百万円

+5,075百万円

8.9%増

⇒売上増加分 **約49.8億円**

新規企業連結による影響

望月印刷	2024年 4月～	1Q	※PL
共同製本	2024年 4月～	1Q	
アスコム	2024年 4月～	1Q	
Sakae Plus	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q	
STUDIO ARC	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q	
アイ・ディー・イー	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q	
ハルプロモーション	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q	
アエックス	2025年 1月～	1Q + 2Q + 3Q	
DNTI	2025年 4月～	2Q + 3Q	
フジプラス	2025年 7月～	3Q	
シルキー・アクト	2025年 7月～	3Q	



* 2025年9月末38社のうち、連結子会社間吸収合併により8社減、新規連結により6社増、持分法より変更2社増

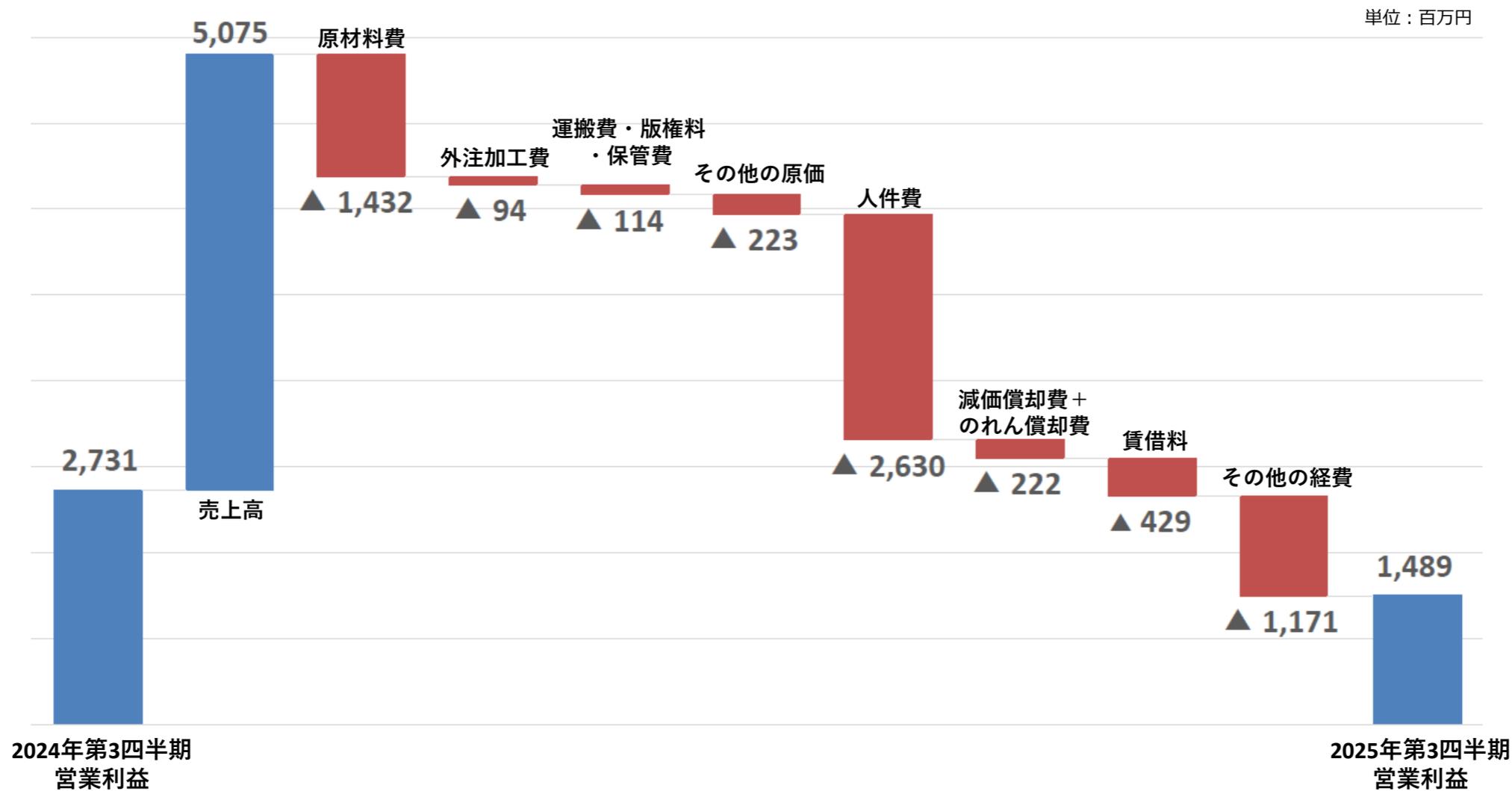
01 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

決算内容のハイライト

売上高 人件費 売上総利益率 29.1% ⇨ 30.8%	8.9%増 15.4%増
付加価値の増加 + 内製化率向上 先行して人件費(時給)を見直し 売上高営業利益率 4.8% ⇨ 2.4%	
	支払利息 217百万円 増加 短期借入金 5,700百万円 減少 社債 3,749百万円 増加 長期借入金 7,325百万円 増加
	自己株式 314百万円 減少
	純資産合計 15,992百万円⇒17,553百万円

01 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

決算内容のハイライト



01 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

FY2025 3Q 事業上のアクション

ポイント①

M&Aによる事業強化

サンメックの子会社化

→シール印刷 特殊印刷カテゴリーの強化

鈴木松風堂の子会社化

→紙管・和洋包装資材・化粧箱 新たな商材の拡充

日本サンプルの子会社化

→食品サンプルの製造販売

紋郎美術工房の子会社化

→テーマパーク造形物・モニュメントの設計・製作・施工

02 新規グループ参画会社

株式会社サンメック

食品用ラベル、工業製品用ラベルの製造

糊・エンボス・箔・素材・形状など
多くの工夫を実現することが可能



新潟市西区

(議決権比率100.0%)



02 新規グループ参画会社

株式会社鈴木松風堂

京都市南区

(議決権比率100.0%)

酒類・化粧品の包装材
菓子類の包装材など

糊・エンボス・箔・素材・形状など
多くの工夫を実現することが可能



02 新規グループ参画会社

株式会社日本サンプル

名古屋市中川区
(議決権比率100.0%)

食品サンプルの製造
フルーツ・菓子など エンドクライアントからの受注

シリコンで型を作り、樹脂をオーブンで
焼き固める



02 新規グループ参画会社

株式会社紋郎美術工房

奈良県大和郡山市

(議決権比率100.0%)

FRP形成⇒着色

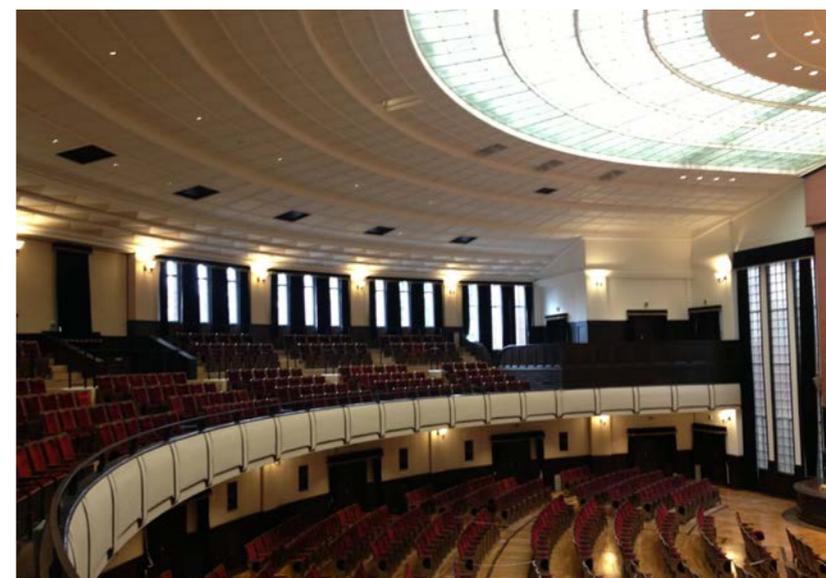
- ・大型立体モニュメント
- ・強度を活かしたテーマパークのライド
- ・軽量かつ強度があり対候性もあることから
建築資材としての活用が広がっている



02 新規グループ参画会社

株式会社紋郎美術工房

奈良県大和郡山市
(議決権比率100.0%)



03 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

FY2025 3Q 事業上のアクション

ポイント②

事業の統合・再配置

リングストンとカタオカプロセスの合併 2025年7月1日

→ポリエチレン商材を扱う2社の経営資源を一元化

田中産業とMGSの合併 2025年7月1日

→MGSの製造組織の統合

美松堂と共同製本の合併 2025年8月1日

→印刷・製本事業を扱う2社の経営資源を一元化

03 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

FY2025 3Q 事業上のアクション

ポイント③

アセットアロケーションの変更

不動産の売却

→不動産の売却による特別利益の計上 + 設備投資による生産性の向上

長期資金の借り入れ

→金利上昇に対応し、長期固定化

04 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

	2025年12月期 第3四半期 (A)	2025年12月期 計画 (B)		2024年12月期 第3四半期 (C)	差異 (A-C)	
	金額	金額	対計画比 進捗率	金額	金額	対前期比 増減率
売上高	62,269	85,000	73.3%	57,193	5,075	8.9%
営業利益	1,489	3,600	41.4%	2,731	▲ 1,242	▲ 45.5%
営業利益率	2.4%	4.2%	—	4.8%	—	—
経常利益	1,582	3,200	49.5%	2,710	▲ 1,127	▲ 41.6%
経常利益率	2.5%	3.8%	—	4.7%	—	—
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,481	5,500	26.9%	1,909	▲ 427	▲ 22.4%
当期純利益率	2.4%	6.5%	—	3.3%	—	—
EBITDA (営業利益ベース)	3,092	5,850	52.9%	4,112	▲ 1,019	▲ 24.8%
EBITDA (経常利益ベース)	3,646	6,030	60.5%	4,335	▲ 688	▲ 15.9%

※EBITDA (営業利益ベース) = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

EBITDA (経常利益ベース) = 経常利益 + 減価償却費 + のれんの償却額 + 金融費用

04 2025年12月期3Q 連結会計期間の概況

(単位：百万円)

		2025年12月期第3四半期	2024年12月期第3四半期	前期比増減	増減率
a	売上高	62,269	57,193	5,075	8.9%
b	原材料費	13,705	12,272	1,432	11.7%
	商品仕入	▲ 2	▲ 41	38	－ %
	外注加工費	14,677	14,583	94	0.6%
	運搬費・著作権料・保管費	2,359	2,245	114	5.1%
	その他の原価	147	▲ 37	184	－ %
a – b		31,382	28,171	3,211	11.4%
	人件費	19,730	17,099	2,630	15.4%
	減価償却費	1,483	1,327	155	11.7%
	のれん償却費	120	53	67	126.7%
	賃借料	1,709	1,279	429	33.6%
	租税公課	339	338	0	0.3%
	貸倒費用	▲ 2	5	▲ 7	－ %
営業利益		1,489	2,731	▲ 1,242	▲ 45.5%
	支払利息	▲ 387	▲ 169	▲ 217	－ %
	持分法投資損益	98	77	21	27.3%
経常利益		1,582	2,710	▲ 1,127	▲ 41.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		1,481	1,909	▲ 427	▲ 22.4%

04 2025年12月期3Q 連結貸借対照表 (資産の部)

(単位：百万円)

科目	2025年12月期 第3四半期		2024年12月期末		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動資産	35,220	43.3%	34,857	46.4%	362	1.0%
現金及び預金	12,936	15.9%	12,244	16.3%	691	5.6%
受取手形、売掛金及び契約資産	12,385	15.2%	14,350	19.1%	▲ 1,964	▲ 13.7%
電子記録債権	1,670	2.1%	2,349	3.1%	▲ 678	▲ 28.9%
その他	8,229	10.1%	5,914	7.9%	2,314	39.1%
固定資産	46,182	56.7%	40,246	53.6%	5,936	14.8%
有形固定資産	32,724	40.2%	29,139	38.8%	3,585	12.3%
建物及び構築物	8,978	11.0%	8,452	11.3%	526	6.2%
機械装置及び運搬具	3,291	4.0%	2,709	3.6%	581	21.5%
土地	16,632	20.4%	17,369	23.1%	▲ 737	▲ 4.2%
建設仮勘定	3,296	4.0%	121	0.2%	3,174	2,617.2%
その他	525	0.6%	485	0.6%	39	8.2%
無形固定資産	1,321	1.6%	1,391	1.9%	▲ 69	▲ 5.0%
のれん	380	0.5%	388	0.5%	▲ 8	▲ 2.2%
その他	941	1.2%	1,003	1.3%	▲ 61	▲ 6.1%
投資その他の資産	12,136	14.9%	9,715	12.9%	2,420	24.9%
投資有価証券	8,210	10.1%	5,745	7.7%	2,465	42.9%
その他	3,925	4.8%	3,969	5.3%	▲ 44	▲ 1.1%
資産合計	81,403	100.0%	75,103	100.0%	6,299	8.4%

04 2025年12月期3Q 連結貸借対照表 (負債及び純資産の部)

(単位：百万円)

科目	2025年12月期 第3四半期		2024年12月期末		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
流動負債	38,441	47.2%	44,367	59.1%	▲ 5,926	▲ 13.4%
買掛金	4,011	4.9%	3,842	5.1%	168	4.4%
短期借入金	22,000	27.0%	25,000	33.3%	▲ 3,000	▲ 12.0%
1年内償還予定の社債	500	0.6%	—	— %	500	— %
1年内返済予定の長期借入金	4,300	5.3%	7,000	9.3%	▲ 2,700	▲ 38.6%
その他	7,629	9.4%	8,525	11.4%	▲ 895	▲ 10.5%
固定負債	25,408	31.2%	14,743	19.6%	10,664	72.3%
社債	3,749	4.6%	—	— %	3,749	— %
長期借入金	18,300	22.5%	10,975	14.6%	7,325	66.7%
退職給付に係る負債	76	0.1%	54	0.1%	21	39.0%
その他	3,282	4.0%	3,713	4.9%	▲ 430	▲ 11.6%
負債合計	63,849	78.4%	59,111	78.7%	4,738	8.0%
株主資本	16,683	20.5%	15,206	20.2%	1,476	9.7%
資本金	100	0.1%	100	0.1%	—	— %
資本剰余金	4,818	5.9%	4,663	6.2%	155	3.3%
利益剰余金	13,358	16.4%	12,351	16.4%	1,006	8.1%
自己株式	▲ 1,593	▲ 2.0%	▲ 1,907	▲ 2.5%	314	▲ 16.5%
その他の包括利益累計額	348	0.4%	153	0.2%	195	127.6%
非支配株主持分	522	0.6%	632	0.8%	▲ 110	▲ 17.5%
純資産合計	17,553	21.6%	15,992	21.3%	1,561	9.8%
負債・純資産合計	81,403	100.0%	75,103	100.0%	6,299	8.4%

05 当社の企業価値に関する考え方

FY2028 に向けての 方針と計画について

05 当社の企業価値に関する考え方

コロナ禍をきっかけに経済状況も大きく変化

- 2020年のマイナス金利から、急上昇に転じる
⇒CPI（全体）+9.5%
CPI（出版物・その他印刷物）+13.1%
- 実質賃金は上昇していない
⇒政府による賃金上昇誘導
- 政治不安に加えて、為替変動による原材料
価格の上昇

未来に向けて付加価値をさらに追及する必要
積極的にアロケーション変更を行います



05 当社の企業価値に関する考え方

印刷関連事業

- ⇒ 徹底的な効率化投資
- ⇒ 付加価値の高い印刷物へ大幅にシフト
・手間+人手を省力化推進

＜大規模な設備廃棄+最新鋭設備の導入＞

ITメディアセールスプロモーション ⇒ 販促・イベントに企画より携わる
アプリケーション

プロダクツ

- ⇒ 付加価値の追求
・手間+人手を省力化推進

顧客ニーズに対して きめ細やかにお応えする

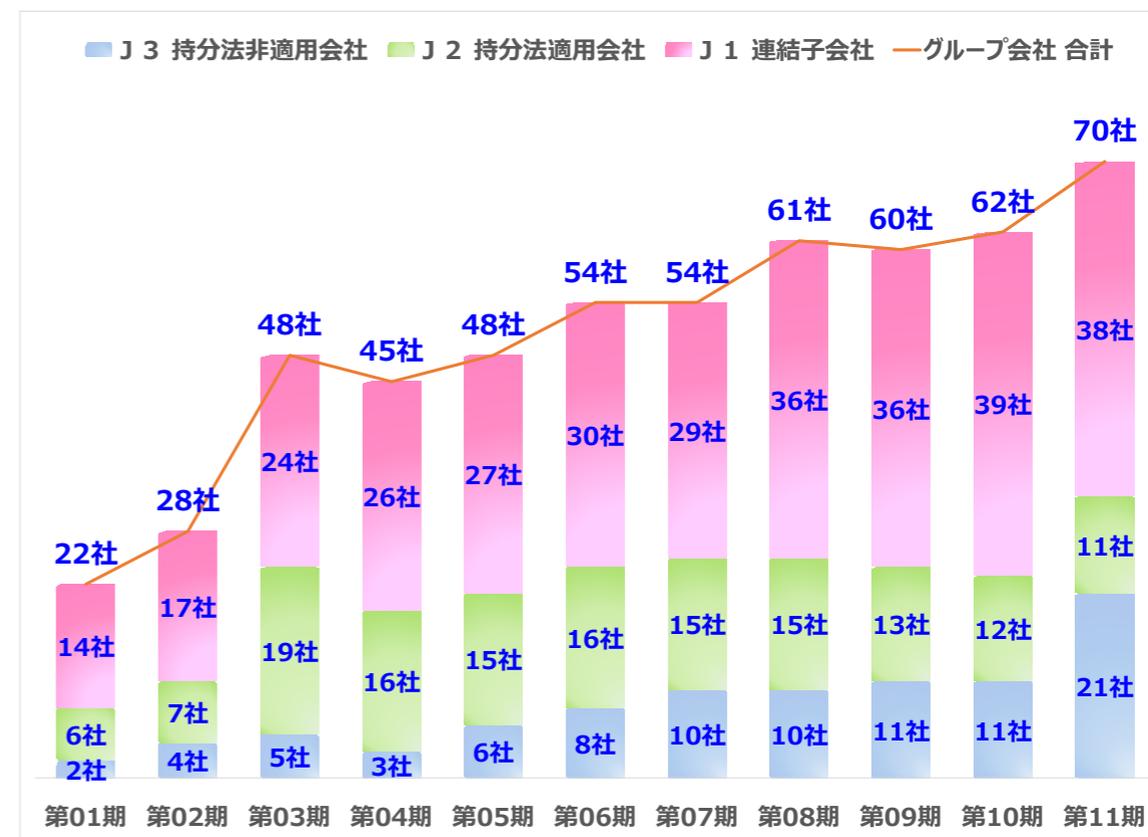
クリエイティブ サポートグループ

05 当社の企業価値に関する考え方

魅力的な企業にグループ参画いただく

- ① 企業は作る(造る)こと、売ることに集中
- ② 必要なグループサポート(協業・製造など)
- ③ グループ資産を集中投資

PMIを通して 企業をバリューアップ
年間 数社のM&Aを連続して行っている



グループ企業数 推移

05 当社の企業価値に関する考え方

- ・2015年12月期 設立以後、安定した配当を継続
- ・2019年12月期 これまでの6円/1株（分割等調整後）
⇒ 7円/1株 に増配

「企業の成長を実現し、株主の期待に応える」

- ① 金銭配当
- ② 自社株式の買入れ
- ③ Cash flow(EBITDA)の増加
- ④ 株価の上昇

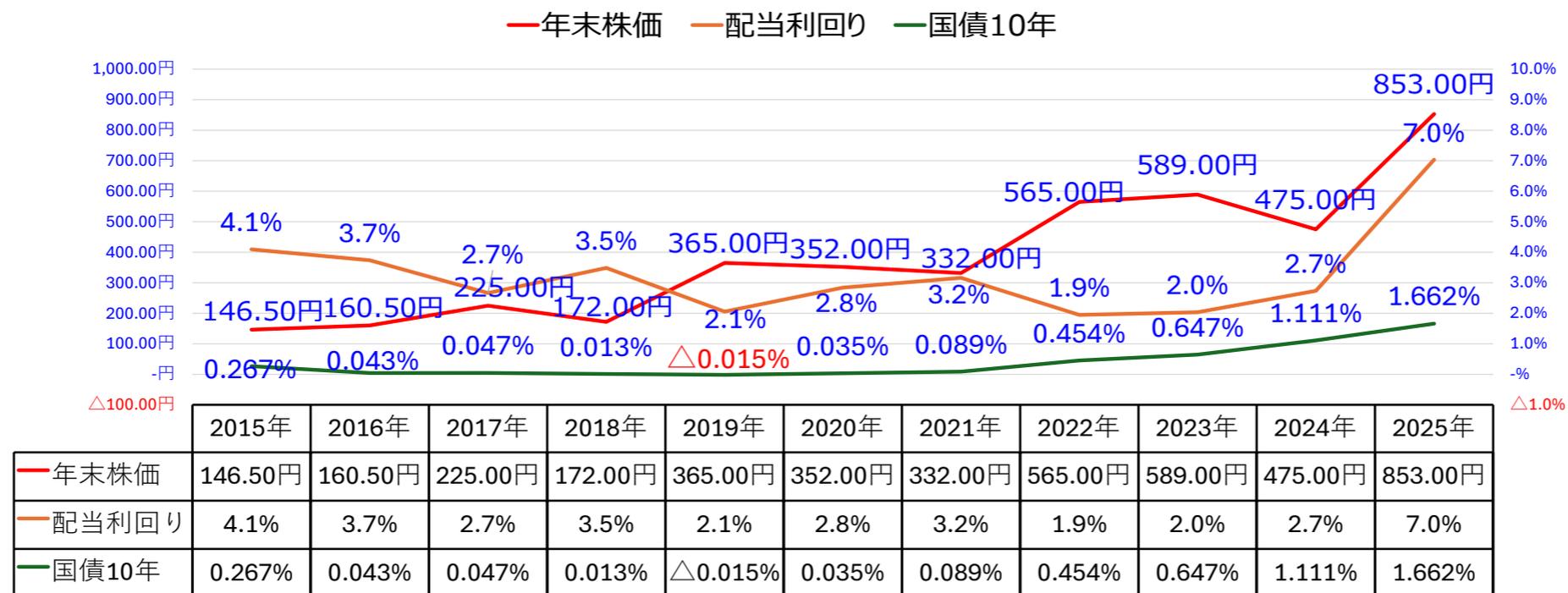
EV(企業価値)
の向上

05 当社の企業価値に関する考え方

① 金銭配当

(単位：円)

	1期 2015年 12月期	2期 2016年 12月期	3期 2017年 12月期	4期 2018年 12月期	5期 2019年 12月期	6期 2020年 12月期	7期 2021年 12月期	8期 2022年 12月期	9期 2023年 12月期	10期 2024年 12月期	11期 2025年 12月期
年間配当	6.00	6.00	6.00	6.00	7.00	10.00	10.50	11.00	12.00	13.00	14.00
特別配当					0.50						46.00
配当合計	6.00	6.00	6.00	6.00	7.50	10.00	10.50	11.00	12.00	13.00	60.00
1株当たり利益	-9.22	11.59	27.59	-18.86	26.20	0.36	18.91	41.54	50.94	58.92	118.11
配当性向	—	51.7%	21.8%	—	28.6%	2,807.8%	55.5%	26.5%	23.6%	22.1%	50.8%



05 当社の企業価値に関する考え方

② 自社株式の買入れと処分(株式交換による払い出しなど)

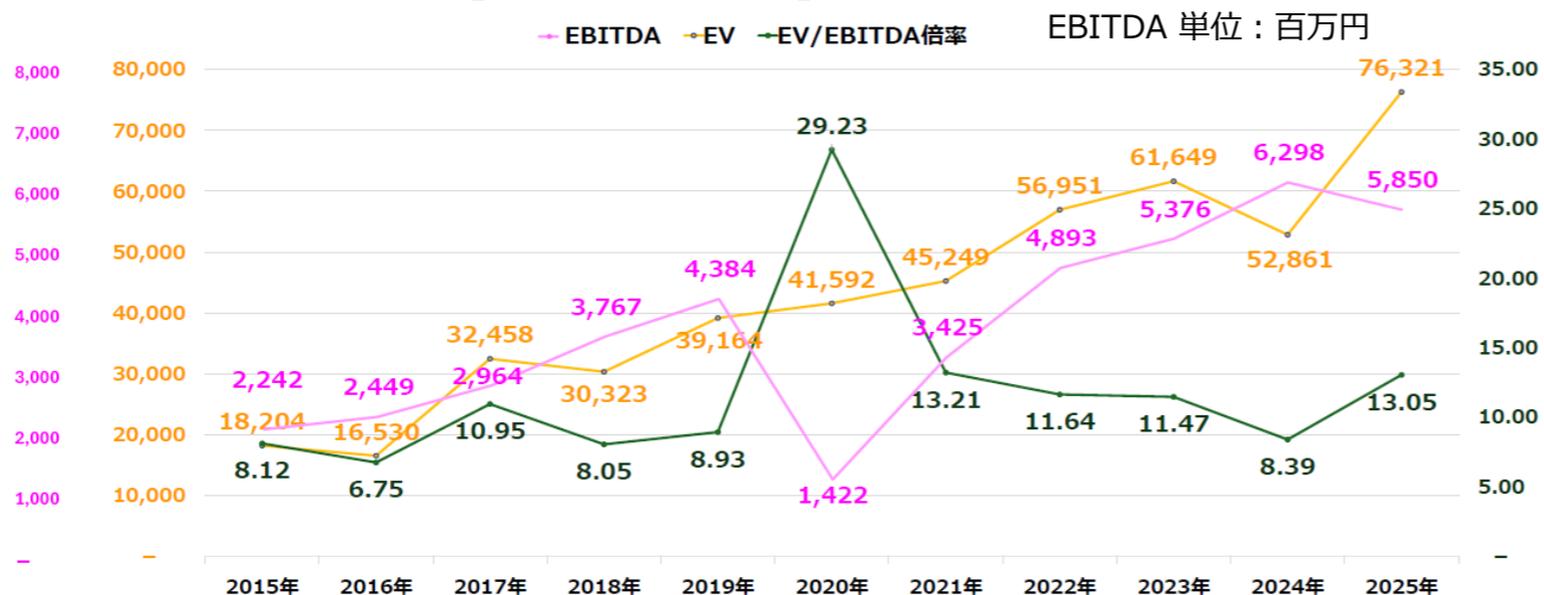
…株主からの買入れと、株式交換等による処分を行い、
資本政策を進めている

	1期 2015年 12月期	2期 2016年 12月期	3期 2017年 12月期	4期 2018年 12月期	5期 2019年 12月期	6期 2020年 12月期	7期 2021年 12月期	8期 2022年 12月期	9期 2023年 12月期	10期 2024年 12月期	11期 2025年 12月期
金銭配当 (円)	6.00	6.00	6.00	6.00	7.50	10.00	10.50	11.00	12.00	13.00	60.00
自己株式買付金額 (百万円)	—	953	279	1,310	878	—	756	—	—	1,698	630
自己株式処分金額 (百万円)	—	-359	-873	-31	—	-1,037	-24	—	-1,625	-18	-945
1株当たり総還元額 (円)	6.00	19.02	-7.09	31.14	25.55	-11.43	25.05	11.00	-21.00	47.47	53.25
総還元性向	—	164.0%	-25.7%	—	97.5%	-3,208.3%	132.5%	26.5%	-41.2%	80.6%	45.1%

※ 金銭配当 = 普通配当 + 特別配当

05 当社の企業価値に関する考え方

③ Cash flow(EBITDA)の増加



好循環をつくるために
投資をする

EV/EBITDA

株価

- ① Debt up
- ② EBITDA up
- ③ 株価 up

上昇
下落
上昇

⇒ 企業の目的は、社会的価値を高めること
付加価値の向上 → Cashを生み出す

06 2025年12月期 連結会計期間の方針と計画

FY2028 に向けて

ポイント①

生産性の向上に積極投資

特別利益と特別損失

事業構造の改革関連の費用 640百万円

- ①生産性向上を目的とする事業拠点の集約（移転を含む）
- ②生産性向上を目的とする設備投資（廃棄＋新設）
- ③不動産売却に伴う移転費用等

不動産売却益

約3,500百万円＋約1,400百万円＝約4,900百万円を活用する

06 2025年12月期 連結会計期間の方針と計画

FY2028 に向けて

ポイント②

生産性の向上に積極投資

・徹底的な効率化

生産設備の移転・統合

- ①印刷事業 関西地域での生産設備の大胆な統合（移転集約）
- ②印刷事業 関東地域での設備の移転と設備投資（廃棄＋新設含む）
- ③プロダクツ 主力工場の完成は2026年2月
印刷工場⇒プロダクツ製造設備併設に業容変更

設備投資額は当初計画より増加

初年度FY2026.12月は 減価償却費 負担増を見込む ⇒詳細は4Q決算後

06 2025年12月期 連結会計期間の方針と計画

FY2028 に向けて

ポイント③

事業利益率の改善への具体策を実行

利益率の改善

売上を追及せず、付加価値を提供

- 人件費上昇＋原価上昇＋金利上昇に対して生産性向上で対応するFY2025
- 印刷製造事業について大幅な設備の移転と投資を行う
⇒FY2027以降にて収益性改善を実現

06 2025年12月期 連結会計期間の方針と計画

FY2028 に向けて

ポイント④

金利上昇懸念へのアクション

成長資金の確保

有利子負債

→FY2024末 42,975百万円⇒2025.12末 49,775百万円

金利上昇に対応して長期短期バランス調整を進める

→固定化にかかる費用をFY2025に計上
⇒将来にわたる金利上昇懸念に対応する

今後も方針は継続する

06 2025年12月期 連結会計期間の方針と計画

FY2028 に向けて

ポイント⑤

人件費増加と人時生産性の向上

物価高騰を背景とした給与水準の見直し

2025年4月1日 139名の新卒が入社

2024年12月31日 3,576名 ⇒ 3,900名 (9月30日)

新人事システムの稼働 (2025年7月)

- ① 人的資本の活性化
- ② グループ会社の人財を積極的に育成し活性化させる

06 2025年12月期 連結会計期間の方針と計画

事業拠点の集約整理

ポイント⑥

関東 + 中部 + 関西

全国のマーケットニーズに対応

→ グループ間での設備移動

→ 新規設備投資

→ 拠点の統合

東京・大阪に続き 名古屋に

グループ営業拠点を10月開設

関西管理本部（大阪分室）を開設



07 2025年12月期 業績の見通し (連結)

(単位：百万円)

	2024年12月期 (実績)	2025年12月期 (計画)	前期比	
			差額	増減率
売上高	80,100	85,000	4,899	6.1%
営業利益	4,351	3,600	▲ 751	▲ 17.3%
経常利益	4,198	3,200	▲ 998	▲ 23.8%
EBITDA (営業利益ベース)	6,298	5,850	▲ 448	▲ 7.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,871	5,500	2,628	91.5%
EPS (円 銭)	58円92銭	118円11銭		
1株当たり年間配当金 (円 銭) (普通配当)	13円00銭	14円00銭		
1株当たり特別配当金 (円 銭)	—	46円00銭		
1株当たり年間配当金 (円 銭)	13円00銭	60円00銭		

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれんの償却額

本日は決算説明会へのご参加 ありがとうございました。

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料作成時点において、

当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、

当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいりますが、

当資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われぬようお願いいたします。



日本創発グループ
JAPAN CREATIVE PLATFORM GROUP

U R L : <https://www.jcpjg.co.jp/>

E-mail : cp@jcpjg.co.jp

T E L : 03-5817-3061 IR担当